

2024 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 Veritas In Silico  
代表者名 代表取締役社長 中村 慎吾  
(コード番号：130A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役管理部長 萩原 宏昭  
Email: [ir@veritasinsilico.com](mailto:ir@veritasinsilico.com)

## 三菱ガス化学と Veritas In Silico、 RNA を標的とした医薬品開発の共同事業に関する MOU 締結について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：藤井 政志、以下「MGC」と表記）と株式会社 Veritas In Silico（本社：東京都品川区、代表取締役社長：中村 慎吾、以下「VIS」と表記）は、RNA を標的とした革新的な核酸医薬の研究・開発・製造を目指し、共同事業に関する MOU を締結いたしましたので、以下お知らせします。

核酸医薬は、創薬手法のみならず、製造法やその一部である精製法が現在も継続的に進歩しております。そのなかで、医薬品を創出する際に最初から製造工程の検討を行うことで医薬品の品質を担保する QbD（Quality by Design）の観点から検討を行うことが近年不可欠と考えられるようになっております。しかしながら、核酸医薬においてそのようなアプローチは、まだ非常に限定的な状況にあります。

MGC は核酸医薬を今後成長が見込まれる市場ととらえ、CDMO 事業としての可能性を検討中です。そのなかで MGC は 2017 年に VIS へ資本参加し、2023 年 12 月より核酸医薬に係る事業協力について協議検討を重ねており、今般その大枠について合意に至りました。

VIS は、mRNA 標的創薬のパスファインダーとして、任意の mRNA におけるインシリコによる標的同定、堅牢かつ定量的なハイスループットスクリーニング、および mRNA 標的向けに最適化した各種創薬技術からなる独自の創薬プラットフォーム **ibVIS®**により、mRNA 標的医薬品の実現への道を切り開いています。この創薬プラットフォームは、核酸医薬、mRNA 医薬の創出にも有効です。MGC は、抗体医薬品を始めとする GMP 製造等に経験と知見を有しており、将来的に核酸医薬の製造を提供します。今後は、VIS が核酸医薬の創出を行う時点から MGC が製造法と精製法を合わせて製造の観点から検討することにより、将来的な核酸医薬に求められる品質を抜本的に改善することが期待できます。

MGC と VIS は、VIS の創薬プラットフォーム **ibVIS®**と、MGC の有する事業・製品間のシナジーを最大限に活かした高品質な核酸医薬をいち早く創出するため、両社による共同事業の開始に向けた検討を進めて参ります。

なお本件 MOU 締結により 2024 年 12 月期の業績予想に変更は生じない見込です。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上